

2026年度品質管理計画

I. 基本方針

「いつでも誰でも良品を安定して造れる製造現場にすること」を基本理念とします。お客様の要求に応えられる「製品」を作り出すために、不適合品を発生させないこと。発生した不適合品を流出させない検査体制の確立。類似した不適合を発生させない改善活動を職場に定着させます。

II. 品質管理の施策

- 1) 品質第一を目指し、製品生産工程の管理体制を確立する。
- 2) ひとりひとりの品質意識を高め、顧客満足度と従業員満足度の向上を図る。
- 3) 品質維持のための生産工程管理と改善を推進する。
- 4) 納期・コストなどの問題解決の改善策を案出する。
- 5) 作業責任者、作業員への教育・訓練を計画的に推進する。

III. 品質管理活動

- 1) 作業リーダーは、作業員に標準を正しく理解させ、計画的に訓練、教育を実施する。
- 2) QC活動による『不具合対策会議』の定例化を図り、不具合要因を作業員全員にフィールドバックし、過去の不具合事例も明示し、不良、用品破損の撲滅を図る。
- 3) 日々整理整頓状況の点検を作業員全員参加で実施し、材料・部品および、製品が適切に保管・管理できる環境を確立する。
- 4) 作業員全員参加の品質・安全パトロールを実施し、作業員間にて問題点を指摘しあえる環境を整備し、『品質・安全』について相互に啓発できるように推進する。

以上